

国際統合リハビリテーション協会 学術誌執筆規定

1. 投稿方法

- ① 投稿は原則として、編集委員会宛に下記メールに、MS-WORD ファイル・PDF の添付に限る。
その際、ファイル名は「自身の論文タイトル名」とする。
- ② 投稿先メール office@akahalabo.com 担当：赤羽
- ③ 編集委員会による査読結果の連絡は、事務局より、ユーザー登録されたメールアドレスへ送付され、修正が必要な場合は指定のあった期日以内に著者本人で修正をし、再度 MS-WORD ファイル・PDF にて再度送信する。

2. 原稿執筆要領

- ① 原稿形式
表題、著者名、所属機関、抄録（要旨）（400 字以内），key words（3 つ～5 つ），本文によって構成。表題は 30 文字ないし 40 文字以内
- ② 抄録
研究論文(原著)・短報の場合は、抄録を<目的, 方法, 結果, 結論>に分けて簡潔に記載する（400 字以内）。上記以外の記事の種類の記事においては、著者の判断で項目名を変更してもよい。
- ③ 本文
原則として、はじめに（序論、緒言），対象および方法，結果，考察，文献等の小見出しをつける。
（ただし、研究論文(原著)・短報以外の種類の記事においては、著者の判断で項目名を変更してもよい。）
- ④ 投稿原稿
全て横書きとして、文字数は、6,000 字～16,000 字程度とし、短報は 2,400 字～9,600 字程度とする。
図や表は 1 枚につき 400 文字換算。図（写真を含む）および表の番号はそれぞれ連番で図○，表▽とし、原稿本文中にそれらの挿入場所を示す。図表の説明文は日本語でも英文でも可。図表は白黒に限定する。
表紙を 1 ページとして、通しページとする。標準的なフォント（MS 明朝，MS ゴシックなど）を用いた Microsoft 社の Word での作成を推奨する。
論文中に顔写真を使用する場合は、患者または親権者に許可を得ておく。また、許可を得たことを写真の説明の中に明記する。やむを得ない場合は患者の同定が不可能なように工夫する。
本文にはページ番号を必ず記載する。
- ⑤ 文章表現
現代かなづかいとし、数字は算用数字，数量や単位は国際単位系（SI 単位）を用いる。

長さ：m, 質量：kg, 時間：s, 温度：°C, 周波数：Hz 等。
略語は初出時にフルスペルあるいは和訳も記載する。
機器名, 薬品名などは, 原則として一般名(会社名, 製品名)とする。

⑥参考文献

参考文献は、本文の末尾にまとめて引用順に記載する。本文中の該当箇所右肩上に下記の要領で引用順の通し番号を記入する。文献リストは引用文献のみとし、引用順に配列する。著者名筆頭から3名まで、以下は「・他」あるいは「et al.」とする。
参考文献は、電子論文を除いて原則としてホームページ上の情報を使わない。

・書籍の場合

著者名(出版年). 書名. 発行地, 発行所名, 開始ページ-終了ページ.
例) 山本竜隆(2004). 『統合医療のすすめ』. 東京, 東京堂出版, pp103-105.

・雑誌の場合

著者名(出版年). 「論文名」『雑誌名』, 巻数(号数), 開始ページ-終了ページ.
例) 赤羽秀徳, 望月圭一, 高橋雅人・他(2003). 「三つ這い位時体幹筋活動の筋電図学的分析」『理学療法学』, 30(7), pp. 407-414.

英語論文の場合 「 」『 』は、無し。

Landman, Fred(1989). Groups, I. *Linguistics and Philosophy*, 12(5), pp. 559-605.

(欧文雑誌の場合。雑誌名は Index Medicus の省略法に準拠し, 論文題名の文頭のみ大文字.)
<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/nlmcatalog/journals>

⑦本誌に採用された論文の著作権は、国際リハビリテーション協会に属する。